



平成28年度
第2回佐賀市まち・ひと・しごと創生
推進会議資料

資料1

平成28年12月21日
佐賀市企画政策課

1 まち・ひと・しごと創生における「To be」について

経過 ①

まち・ひと・しごと創生推進会議(8/23)において、
「佐賀をどうしたいのか」という「To be」について検討していくこととなった。

経過②

まち・ひと・しごと創生推進会議委員にいただいた意見を踏まえ、事務局にて整理

◎ テーマ 「佐賀市をどのような“まち”にしたいか」

* 人口減少問題の克服、地域経済の活力維持に向けて、佐賀市を
どのような“まち”にしたいのかについての案と趣旨
「例:〇〇〇ができるまち、〇〇〇を育むまち」

* 概ね10年後の姿を想定

第2回まち・ひと・しごと創生推進会議でTo beを決定

2 「To be」 についての意見から

➤ 提出された意見

- 水と緑と空に恵まれた佐賀の自然と環境を守り、子どもから高齢者まですべての人が明るく元気で楽しく暮らすまち
- 葉隠れ武士道の倫理、道徳心に富んだ精神性の高さと、郷土佐賀の歴史と文化を誇れる人たちが住みやすく住みたくなるまち
- 安心安全安寧のまち

◎キーワード

自然と環境
精神性の高さ(倫理、道徳心)
歴史と文化

⇒守るべき誇り・宝

◎まちの姿
(イメージ)

郷土の誇り・宝が大切にされ、
次世代に引き継がれている。

子どもから高齢者まですべての人
明るく・元気で楽しく

⇒笑顔・幸せ

子どもから大人まであらゆる世代
の人が、笑顔で幸せに暮らしてい
る。

住みやすい
住みたくなる
安心安全安寧

⇒穏やか・暮らしやすさ

誰もが快適に穏やかに暮らして
いる。

3 「To be」案について

➤ Tobe(めざすまちの姿)案

『豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが』

【総合戦略への記載】

- ◎本市は水や緑、広い空などの豊かな自然、伝統ある歴史・文化とともに生活の基盤となる都市機能を兼ね備えている。
- ◎この恵まれた環境を大切に守りつつ、佐賀に住むことに誇りと愛着を持つ人が増えていくことで、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、穏やかに笑顔で暮らせる“住みやすいまち”をめざしていく。
- ◎そのことが、誰もが“住みたいまち”になること、さらには、まち・ひと・しごとの創生につながっていく。